

## 2023年度 ハマボノプロジェクト

支援先団体名	区	支援メニュー	ページ
神奈川食事サービスワーカーズコレクティブ ぽてと	神奈川	課題整理 ワークショップ	2
いずみの会	港南	ウェブサイト	5
一般社団法人おもいやりネットワーク	旭	課題整理 ワークショップ	8
みのりサポート	磯子	印刷物 (1DAYチャレンジ)	11
みんなでご飯を食べる会	栄	ウェブサイト	13

# プロジェクト紹介

## 神奈川食事サービスワーカーズコレクティブぼてと



神奈川県

### 神奈川食事サービスワーカーズコレクティブぼてと

プロジェクトの種類 課題整理ワークショップ

プログラム

ハマボノ

進捗率

進捗率 100 %

進捗状況

プロジェクト成果

その後の変化

1999年に設立以来、少子高齢化が進む中、「住みなれた地域で安心して暮らし続けたい」と願い、在宅生活を支援するシステムとして神奈川県で配食サービス及び配食を通じた見守りを実施している団体です。現在のメンバー21名のうち、7名は設立時からのメンバーで64～85歳のスタッフが食材の調達から調理、配達までを交代で担当しています。

食べることは、生命維持にかかわる日常生活の必要条件。安心・安全な食材で「その日の手作り」、安否を確認しながら「配る」、必要に応じて「ケアする」ことを基本理念として週に6日、配食サービスを実施しています。

現在の課題は、創立から20数年が経過してメンバーが高齢化し、新しいメンバーを募集しようにもなかなか集まらない点です。これからも地域の食の安心・安全に貢献し、ワーカーズコレクティブの働き方（働く者同士が出資・運営・分配）を推進しながらシニアの方などの働く機会を拡大したいのですが、団体の課題は多く何から手を付けてよいかわからない状況です。取り組みの優先順位について外部の力を借りながら整理していきたいです。

団体を立ち上げた人たちは地域の方たちへの想いを持って活動してきましたが、後から入った方に理念が伝わらず、なかにはわからないことですぐに辞めてしまう人もいます。地域にこの活動が必要なんだという「ぼてと」の想いを伝えていくことで、地域の中で安心・安全で栄養バランスのとれた食事サービスを利用できる人を増やしていきたいと考えてます。

そこで、今回のプロジェクトでは、団体を取り巻くステークホルダー（団体のメンバーや利用者）へのヒアリングを行いながら現状の課題を棚卸し整理します。また、今後の目指す方向性についてもワークショップ等を行いながら明確化します。団体の目指す目標に向けて、どのような優先順位で課題解決をし、どのように事業を進めていけば良いか提案を行います。

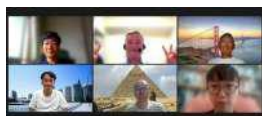
この過程を通じて、活動の軸となる団体の活動理念の共有にも寄与し、スタッフの定着や新規スタッフの募集にもつなげて団体の継続につなげていきます。

### 進捗状況

2021.10.21

団体の理事会に参加し今後のヒアリングの予定についてご相談しました。

2023.09.30

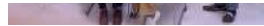


オンラインでのオリエンテーションを実施しました。ハマボノ2023の全チームが集合し、ブレイクアウトでチームミーティングなどを行い、チームメンバーの顔合わせ、支援内容の確認、プロジェクトの進め方の確認などを行いました。

2023.10.14



キックオフミーティングを開催しました。団体、支援者の皆さんが2名ずつ、チームから5名の参加の会となりプロジェクトのゴールや今後の進め方を確認する場となりました。事前にチームで準備した資料に対してたいへん丁寧に回答いただき次のフェーズであるヒアリングの予定も順調に進んでいそうです。いよいよプロジェクトがスタートします！



2023.11.07

団体の理事の皆さま、支援者の皆さまへの個別ヒアリングが完了しました。12日のチームミーティングで課題のカテゴリ分け等を実施し、中間提案に向けて準備を進めていきます。

2023.11.11



中間共有会を開催し、各チームの進捗状況を共有しました。各チームでうまくいっていることや困っていることなどを共有し、これからの活動のヒントとします。

2023.11.12



団体さんの理事の皆さんや支援者の皆さんのヒアリングの結果についてチームで集まり収集した情報のまとめと分析を実施しました。これから中間提案に向けてさらに準備を進めていきます。

2023.12.23



中間提案を行いました。ヒアリングの結果や外部環境の分析よりチームが整理した課題についてご説明しました。成果提案では、チームより解決のためのアクション（すぐに取り組むことができること）についていくつかご提案していきます。

2023.12.27

中間提案に対するフィードバックシートを受領しました。

2024.01.28



リアンかながわを会場とし、団体10名、チームメンバー4名、支援者2名で最終提案ミーティングを実施しました。チームからは、大枠で4つのアイデアが発表され活発な質疑、意見が飛び交いました。団体さんからはすぐに動いてみたいアイデアの話がいくつか出ています。アイデアはたいへん前向きに受け止められており今後の活動に活かされることが期待されます。

2024.01.30

提案に対するフィードバックを受領し最後のチームミーティングを実施しました。約4カ月のプロジェクトは完了となりました。

## プロジェクト成果



外の人の目で課題を整理する得難い機会になりました。実行できそうなアイデアから実現に向けて進めていきたい。

メンバーの高齢化やなかなか新しい仲間が集まらないという現状を解決するために、今後の取り組みの優先順位付けを行いたい、そのために現状の課題を整理するプロジェクトを実施しました。

プロボノチームは、団体の理事の皆さんや支援者の方々に丁寧にヒアリングを行い活動への理解を深めました。ヒアリングの内容や外部環境から見えてきた課題は整理して中間提案でご説明しました。

最終提案は団体から10名のご参加がありました。中間提案から見えてきた課題を解決するためにチームから「利用者拡大」や「仲間づくり」に関するいくつかのアイデアを提案しました。各アイデアには活発なご意見や質疑があり、終了後には団体の方から「思いを再確認し、自信を持って仲間に声をかけ、事業を継続していくことが何よりも大事だと痛感しています」という声をいただきました。提案したアイデアの中には既に実行している内容もあり「間違っていなかった」という確認の機会にもなったように思います。今後は団体内での話し合いを経たうえで「これなら実行できそう」という内容から順番に取り組んでいく予定です。改めて外部の人の声の大切さに気付いたことも大きな成果になりました。

(2024年1月31日時点の情報です)

# プロジェクト紹介

## いずみの会



港南区

### いずみの会

プロジェクトの種類 ウェブサイト

プログラム

ハマボノ

進捗率 進捗率 100 %

進捗状況

プロジェクト成果

その後の変化

いずみの会は、港南区地域振興課の支援を受け、2007年より活動開始。2010年からは日野南地域ケアプラザを拠点とした「男のセカンドライフ大学校分校事業」、2015年からはケアプラザとの共催事業へと移行し、主に定年後の男性の仲間づくりと、共に学び合うことを目的とした講座「男のセカンドステージの生き方を探る」を毎年企画し、開催してきた団体です。講座の参加者は一般公募をしており、毎年新規メンバーが加わって現在は70代後半～80代半ばの29名で活動しています。2020年度以降は自主活動グループとなり年間7講座を企画運営しています。

ケアプラザとの共催期間の広報は、ケアプラザの事業としての広報に頼っていましたが、2020年度以降自主活動グループとなってからは、新規会員や自主講座への参加者募集については、独自のPRが必要となり、また紙の広報物では印刷費用の発生、配布先の限界などの問題があり困っていました。ホームページが出来れば、QRコードやメール、SNSでも共有でき、それを閲覧してもらう事で興味を持つ人が増えるのではないかと期待しています。ホームページを港南区以外の日本中の方に見ていただき、定年後の男性が地域社会に出て、充実したセカンドライフを過ごす目的を持った団体の事例として、参考にして戴けるかもしれません。会員にならなかったとしても、関心を持つ方が増えれば良いと思います。

そこで、今回のプロジェクトではジンドウまたはWixなどの制作・管理のしやすいツールでウェブサイトを作成します。ホームページは更新の手間がかからず、イベントの内容が見えるものとし、会員専用ページにはパスワードを設定して会員が毎月の議事録を確認できるようなライブラリー機能を持ったものとしていきます。

## 進捗状況

2023.09.30



オンラインでのオリエンテーションを実施しました。ハマボノ2023の全チームが集合し、ブレイクアウトでチームミーティングなどを行い、チームメンバーの顔合わせ、支援内容の確認、プロジェクトの進め方の確認などを行いました。

2023.10.14



キックオフミーティングが行われ、団体、PBW、支援者が一堂に始めて顔合わせをし、お互いの紹介から始まりました。その後今後の活動についての確認が行われ、最後にヒアリングの予定を調整しました。

2023.11.04



マーケティング戦略提案を実施しました。以下の内容について提案、討議しました。

1. HPの目的
  2. 誰に向けたHPにするのか
  3. 何を伝えるのか
  4. どのように発信、受信をしていくのか
  5. どのような効果が期待出来るのか
- 以上が要点です。

2023.11.11



ハマボノチームで中間共有会を開催し、各チームの進捗状況を共有しました。各チームでうまくいっていることや困っていることなどを共有し、これからの活動のヒントとします。

2023.11.25



中間提案は制作・クリエイティブ提案を行い実際に制作進行中のHPを見せていずみの会さんに構成などを確認して頂きました。その結果、基本的には合意を頂き合意のフィードを頂きました。その他に今後のスケジュールの確認とプロボノチームといずみの会さんが各々やるべき課題の管理シートを確認しました。

2023.12.16

いずみの会の活動にチームメンバーが参加し、その後、懸案事項を話し合いました。

2024.01.06

団体さんとの最終確認ミーティングに対する打ち合わせをチームのZoomミーティングで行いました。

2024.01.13



1月13日に最終確認ミーティングを実施、ほぼ出来上がったホームページを使って団体さんに構成、内容の説明を行いました。また、メンテナンスマニュアルの説明を行い、今後いずみの会自身が運営するにあたっての内容の説明を行いました。いずみの会は2-3名によるホームページ管理委員会をつくり対処していく準備をしているところです。

1月27日に予定している成果物の引き渡しの際、プロボノチームのアカウントからいずみの会さんのアカウントへホームページを移動させ引き渡しとする予定です。

2024.01.27



日野南地域ケアプラザで最終提案が行われました。最初に出来上がったHPを投影して構成、内容の確認を行いました。次にメンテナンスマニュアルを実際使って会の担当者が操作を行って色々な場面での操作方法の確認をおこないました。その結果最終成果物の引き渡しとなりプロジェクトの完了となりました。会の方から感謝の意が述べられ予想以上の出来栄となりました。

## プロジェクト成果



いずみの会の活動内容や魅力が発信できるウェブサイトが完成しました。

完成したウェブサイトは、今までの活動風景の写真を活かし、またこれからの活動予定も盛り込んだページになりました。人生100年時代のナイスエイジング、充実した一日を楽しく生きる為のコミュニケーションの発信塔として活動を支えていきます。男のセカンドステージの生き方を探り、地域の仲間づくりのみならず他の地域でも参考にさせていただき、このウェブサイトを多くの人に見ていただければと思います。

今後もHPを更新して頂く為に納品されたマニュアルは、早速立ち上がった会のHP管理委員会のメンバーが活用しています。

(2024年2月6日時点の情報です)

**完成したウェブサイトはこちら** [\(外部サイトにリンク\)](#)

# プロジェクト紹介

## 一般社団法人おもいやりネットワーク



旭区

### 一般社団法人おもいやりネットワーク

プロジェクトの種類 課題整理ワークショップ

プログラム

ハマボノ

進捗率 進捗率 100 %

進捗状況

プロジェクト成果

その後の変化

おもいやりネットワークは、主に、コミュニティカフェの運営をしています。それに加えて、要支援者を対象とした配食サービス、見守り、通所型支援などを行いながら、コミュニティカフェの場所を活用して、ライブ、こどもちいき食堂、認知症カフェや、屋外ではラジオ体操、コンサートなど、様々な活動を広げてきました。

もともと、団体代表の中村さんは、左近山団地に引っ越して以来、子どもたちへの読み聞かせの活動を地域の老人会の協力のもと行っていました。そのような中で、団地の空き店舗を利用したコミュニティカフェの立ち上げを旭区ほたるファンドに申請し通ったことをきっかけに、このコミュニティカフェを開設しました。当初、親子サロンの場としていましたが、地域活動に関わる中、時代の変化を感じ取り高齢化や認知症の問題を意識するようになりました。高齢化が進む中でも、地域で支え合い、誰もが健康に暮らしていくための活動を行うとともに、要支援者へのサポートをする活動（サービスB）も継続展開していきたいと考えています。

そのために様々なニーズに応えながら活動を広げてきましたが、代表一人の肩に多くがかかっているのが現状です。組織として継続するためにも団体内部で、活動への想いを共有し、事業の見直しや整理を行い、団体の方向性を今一度再確認する段階に来ていると考えています。

そこで、今回のハマボノでは、代表やボランティアの方など運営に関わる皆さんの想いやご意見を聞きながら、可能であれば利用者さんやケアマネージャーさんなどのご意見も伺い、おもいやりネットワークの価値や課題を整理し、団体として発展・継続していくための方向性や次のアクションを検討します。

## 進捗状況

2023.09.30



オンラインでのオリエンテーションを実施しました。ハマボノ2023の全チームが集まり、ブレイクアウトでチームミーティングなどを行い、チームメンバーの顔合わせ、支援内容の確認、プロジェクトの進め方の確認などを行いました。

2023.10.14



ワールドポーターズで、ハマボノ全チームのキックオフミーティングを実施しました。チームミーティングでは団体の活動や支援内容についての確認を進めました。また、さっそく午後に団体の活動場所を訪問し、こども・ちいき食堂『みんなでカレーを食べる日』の活動見学をしました。

2023.10.15



前日の活動見学に続き、この日は、ケアーズカフェの『フラワーアレンジメント』の活動を見学しました。





支援先団体の活動場所を訪問し、活動の見学、ご提案予定のSNS使用に向けた確認、アンケート実施に向けたご説明などを行いました。

2023.11.11



ハマボノチームで中間共有会を開催し、各チームの進捗状況を共有しました。各チームでうまくいっていることや困っていることなどを共有し、これからの活動のヒントとします。

2023.11.12



土日にかけて、1日半で、理事、賛助会員など、17名の方へのヒアリングを実施しました。プロボノチームがペアになり、ヒアリング対象となる方1名につき1時間ずつのお話を伺い、活動への思いなどをじっくり伺うことができました。また、ヒアリング後には、代表の中村さんと、今後のヒアリングや、アンケート実施に向けた打ち合わせを行いました。

2023.11.25

賛助会員などへのヒアリングを実施しました。

2023.12.15

12/2、5、11、15に、外部ステークホルダーなど7名の方へヒアリングを実施しました。

2023.12.17

チームが集まり、これまで実施をしたヒアリングを振り返り、課題の抽出・整理をスタートしました。中間提案（2月実施の方向）に向けて、引き続き中間報告資料としてまとめていきます。合わせてアンケート調査の集計と分析も中間報告のために取り掛かっています。

2024.01.08



団体代表の中村さんにヒアリングを行いました。今、中村さんが担当している業務やこれからの活動への不安や悩みをお聞きすると同時に、活動の幅を広げていきたいという抱負もうかがうことができました。

2024.02.04



これまでのアンケート集計や、インタビューを分析して提言をまとめた、中間提案ミーティングを実施しました。

2024.02.18

中間提案の承認をいただき、最終のワークショップの運営についての打合せを行いました。ワークショップでは中間提案のアンケートやインタビューを踏まえて、ステークホルダーのみなさまに団体のこれからの検討をいただく予定です。

2024.03.10



最終提案として、インタビューを行った人たちを中心としたワークショップ（グループ懇談）を行いました。たくさんのステークホルダーの方に集まっていただき、これからのおもいやりネットワークの活動をみなさんと考えていきました。

## プロジェクト成果



活動をみんなで盛り上げるための課題整理とワークショップで、これからの「おもいやりネットワーク」が見えてきました！

おもいやりネットワークでは、地域での活動をもっとみんなに知ってもらい、また活動に参加するみなさまの想いを形にしながら、より地域に密着した事業を展開していきたいと考えていました。

そこで、おもいやりネットワークに関係されている方々へのヒアリング（40件）やアンケート調査を行いました（66件）。その情報を元に今現在の団体の課題を洗い出し、整理しました。そこで出てきた課題に対して、おもいやりネットワークに関わっている人たちによるワークショップ（グループ懇談）を開催しました。

ワークショップでは、インタビューに参加いただいた方を中心に20名を超える方に集まっていただき、これからのおもいやりネットワークの姿について、参加者の思いのアイデアや意見が出されました。これまでのように代表一人に偏る運営にならないよう、ボランティアの皆さんや利用者の皆さんの声を聞きながら活動を発展させていく方向性を確認する場となりました。

（2024年3月10日時点の情報です）

# プロジェクト紹介

## みのりサポート



磯子区

### みのりサポート

プロジェクトの種類 印刷物（パンフレットリニューアル）

プログラム

1DAYチャレンジ

進捗率 進捗率 100 %

進捗状況

プロジェクト成果

その後の変化

「みのりサポート」は、高齢者の方々が住み慣れた地域で自分らしく暮らしたいとの思いに寄り添った介護や居場所作りなどの活動を行っているNPO団体です。2004年に設立され、約20年にわたり地域密着の活動を展開してきました。サービスA事業所としての活動に加え、活動の一環として、「みのりわはは寄席」（落語）や「フラワーアレンジメント」（お花）などのミニデイ活動を通じて、高齢者のコミュニケーションと心のケアを支援しています。落語やお花の活動では、外部の演者や専門の講師を招いての活動を継続し、地域の高齢者が閉じこもらずに生き生きと過ごせる場を提供することに貢献しています。

これからも地域の健康な生活を支える活動をしていくにあたり、利用者を増やしたいと考えています。これまで、団体紹介パンフレットや各活動のチラシやポスターを作ってきましたが、必要な人に充分届いていないと感じ、内容の一新や発信の仕方への工夫の必要があると考えています。特に、団体パンフレットは作ってから時間が経ち活動内容も変わってきましたが、更新できていない状態です。

そこで、ハマボノで、利用対象者の手に届くよう、団体紹介パンフレットをリニューアルします。団体としての目的や魅力が伝わり、個々の活動にも関心を持ってもらえるよう、そして今後活動内容に変更があっても更新しながら使い続けられるものを作ります。また、居場所や支援を必要としている人にも知ってもらえるよう、ケアマネジャーさんにも手に取ってもらえるようなものを目指します。

## 進捗状況

2023.07.05



オリエンテーションを実施し、プロジェクト内容や流れの確認、1DAY当日に向けた準備などの確認をしました。

2023.07.11

支援先団体への質問事項をリストアップし、それをチームミーティングで確認をしました。団体にお送りし、いただいた回答をもとに引き続き1DAYチャレンジ当日の活動イメージを作り上げていきます。

2023.07.16

チームでリストアップした質問項目を整理し、支援先団体に回答依頼をお送りしました。

2023.07.17

支援先団体から早速質問への回答をいただき、チーム内で共有しました。

2023.07.22



ハマボノ1DAYチャレンジ当日を迎え、まずは支援先団体活動場所を訪問しました。会議、研修を団体で実施されているところに伺いご挨拶とハマボノのご紹介をし、成果物作成に向けた確認をしました。

2023.07.22



プロボノワークが8割ほど進んだ頃、ワーク会場に支援先団体の方に合流いただき、作成途中のリーフレットをご覧いただきご意見をいただきながら、リーフレットの最終化に入りました。

2023.07.22



成果物となるリーフレットをご提示し、最終的な微修正を行いました。修正作業は、今後の更新作業も見据えて、支援先団体の方にも試していただきました。修正を終え、最終成果物として納品をしました。

## プロジェクト成果



活動内容をわかりやすく整理して伝える、今後も更新しながら活用できるパンフレットが完成しました

NPO法人みのりサポートでは、介護保険サービスである訪問介護事業、介護保険外で通院介助や買い物などの生活支援、子育て支援をする自主事業、そして、地域の方に向けて「みのりわはは寄席」や「フラワーアレンジメント」などのミニデイ事業の、大きくわけて3つの活動をしています。その3つがわかりやすく伝わるようなパンフレットになるよう、それぞれの活動を、柔らかい色合いで色分けをしました。

「ハマボノ1DAYチャレンジ」として1日の活動で、活動現場訪問をし、活動されている皆さんともお会いでき、ヒアリングを経て成果物を作成しました。成果物の完成に向けては、支援先団体の方も同席くださり、細かい修正にあたってのご意見なども伺いながら整えました。

また、成果物データをお渡しする際に、実際にパワーポイントに触っていただき、写真やテキストの差し替えをするやり方もお伝えしました。

NPO法人みのりサポートのロゴマークの色を基調にした明るい色合いの、活動がわかりやすく伝わるパンフレットが完成しました。

# プロジェクト紹介

## みんなでご飯を食べる会



栄区

### みんなでご飯を食べる会

プロジェクトの種類 ウェブサイト

プログラム

ハマボノ

進捗率 進捗率 100 %

進捗状況

プロジェクト成果

その後の変化

みんなでご飯を食べる会は、2018年から活動を開始し、現在は毎月1回「かさまごはん」という地域食堂を笠間地域ケアプラザ内で実施している団体です。担い手は主に高齢者を中心としたボランティアで30名の方が登録しており、毎回約20名のスタッフがやりがいをもって活動しています。地域住民が顔を合わせて食事をする場を提供することで、子どもや高齢者をはじめ個々の住民との顔見知りの関係を生み出しています。

地域食堂の情報はチラシを学区内の小学校や中学校で配布し、子どもからは主にQRコードで参加申し込みを受け付けていますが、毎回の食堂には定員があるため抽選の結果、外れた方への連絡には苦慮しています。デジタルの活用によって申し込み手続きを含む事務の効率化を図っていきたくと考えています。また、これまで地域食堂の活動報告の場がなかったのでホームページを活用して情報を発信していきたいと考えています。ボランティアスタッフの応募のハードルを下げることや、寄付者への説明・報告のための情報発信なども求められています。

そこで、今回のプロジェクトでは、ジンドウまたはWixなどの制作・管理のしやすいツールでウェブサイトを作成し、地域食堂の申し込みを活用しているGoogleフォームの見直しや、地域食堂の開催情報等を掲載するSNSとの連携を検討しながら、最新情報の発信と活動内容の共有に向けて情報発信の体制を整えたいと考えています。活動内容の発信はボランティアスタッフの応募促進、寄付の増加にもつながることを期待します。

現在使用されている申込・受付方法、情報の管理方法を聞き取りながら、改善に向けた提案を行い、必要に応じてホームページにも反映します。また、高齢者のスタッフが更新できるように、ウェブサイトの更新マニュアルを作成します。

## 進捗状況

2023.09.30



オンラインでのオリエンテーションを実施しました。ハマボノ2023の全チームが集合し、ブレイクアウトでチームミーティングなどを行い、チームメンバーの顔合わせ、支援内容の確認、プロジェクトの進め方の確認などを行いました。

2023.10.09



キックオフミーティングの前にチームメンバーが一室に会し、キックオフミーティングに向けての作戦会議を実施しました。団体さんの意向に沿いながら効果的に成果物を提供するための準備が進んでいます。

2023.10.14



キックオフミーティングが実施されました。ハマボノ2023に参加した4団体、チームの全員が一室に会し、いよいよプロジェクトの開始です。

2023.10.14



キックオフミーティングでは、団体の皆さんとプロボノワーカーの皆さんがいろいろな情報交換を行い、プロジェクトのゴールに向かっての意思統一を図りました。

2023.10.26



かさまご飯の見学および参加者・ボランティアの方へのヒアリングを行いました。

2023.11.05



役員及び関係者の方のヒアリングを行いました。

2023.11.06



ケアプラザのご担当者へのヒアリングを行いました。

2023.11.11



ハマボノチームで中間共有会を開催し、各チームの進捗状況を共有しました。各チームでうまくいっていることや困っていることなどを共有し、これからの活動のヒントとします。

2023.11.20



中間提案に向けてのチームミーティングを実施しました。チーム内で担当するパートを決め、それぞれのパートについての作業を進めていきます。

2023.11.27



中間提案に向けてのチームミーティング（2回目）を実施しました。各担当が作成した資料の確認を行い、12/3の中間提案に向けての資料のブラッシュアップを行います。

2023.12.03



中間提案を行いました。ホームページをイメージしていただき、今後の進め方に対しての提案と確認を行いました。

2023.12.07

提案に対するフィードバックと承認を受領しました。

2023.12.17



第1回目のレビューを行いました。ホームページのイメージを共有し、具体的な内容の確認に入っていきます。また、受付業務のヒアリングをおこない、より効率的な方法を検討していきます。

2024.01.08



第2回目のレビューを行いました。実際のホームページを見ながら、団体のみなさんのご意見を伺い、その場でフィードバックしながら修正を加え、全体像が概ね決まってきました。また、ホームページのイメージを統一するためのトーン&マナーをまとめた資料（素案）をお

渡ししました。

2024.01.28

第3回目のレビューを行いました。本日までオープンチャット（OpenChat）で写真や原稿をやり取りしながら作り上げたホームページを元に、詳細な確認を行っていきました。活動の想いをうまく伝えるために、参加者みんなで表現を考えながらコンテンツの調整を行いました。



2024.02.04



ホームページの更新や編集方法を団体の方へ伝えるためのトレーニングを実施しました。みなさん熱心に取り組んでいただきました。

2024.02.12



最終成果物であるホームページのアカウントを移管し、運用の引継ぎを行いました。

した。4ヶ月にわたるプロジェクトも無事完了しました。

## プロジェクト成果



活動の魅力を伝え、ご飯を食べたい人、応援したい人とつながれるウェブサイトができました！

みんなでご飯を食べる会が運営している地域食堂「かさまごはん」。活動の想いやこれまでの様子を出来るだけ多くの人に知ってもらうためのホームページを作成しました。ごはんを食べたい方やスタッフとして手伝いたい方、活動を応援したい方たちに「かさまごはん」の活動や参加方法をわかりやすく、丁寧に案内しています。また、ホームページからいつでも簡単に申し込みができるようになりました。



ホームページの更新に必要なマニュアルやトーン＆マナーの整理、グーグルフォームの見直しも含めて成果物として納品しました。今後は、みんなでご飯を食べる会のメンバーでさらに新しい情報を発信・更新していただきます。

(2024年2月11日時点の情報です)

完成したウェブサイトはこちら <https://kasamagohan.jimdofree.com/>